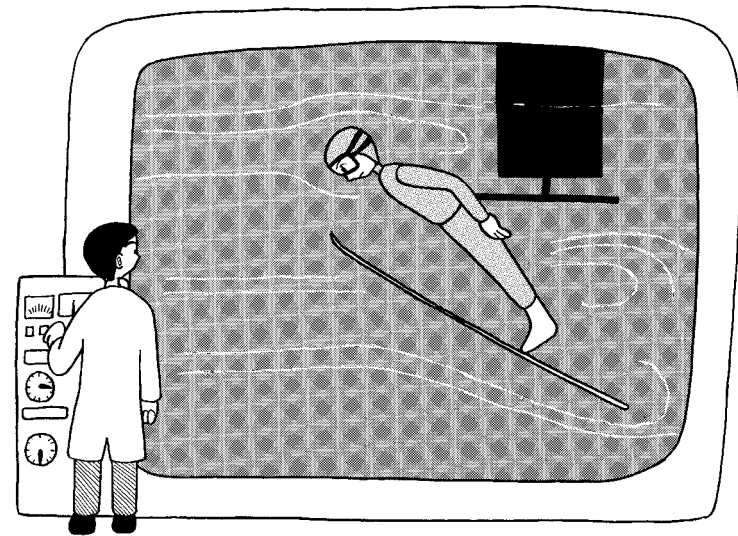


空力特性に基づいた スキージャンプ飛行の最適化

研究代表者 山形大学 瀬尾 和哉

近年ではスキージャンプの研究に風洞実験が行われるようになりました。勿論、飛行中人体周囲の空気流れの複雑さを考えれば、運動方程式の解法にはかなりの単純化が必要であり、現実との乖離もありますが、それに比しても、シミュレーションでは数々の条件設定が可能であり、スキージャンプ飛行の最適計算を行った瀬尾氏らの研究は高く評価されます。風洞実験のスキージャンパーに働く空気力の計測データが蓄積されれば、いずれは数値計算のみでも、この種の最適化の予測や、用具やウェアの開発にも利用できるでしょう。競技場の気象条件、風向きやその時間変化の特徴から、その場所に最適な対策を考える時代もくるかもしれないと、大きな夢の膨らむ研究内容です。



スキージャンプ飛行の最適計算は、用具・ウェアの開発をはじめ、競技場ごとの対策にも貢献しそうだ

